経済部文化観光局観光課

1 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

(1) 重点事業

ア 皆生温泉魅力づくり事業及び誘客事業

- ・皆生温泉海遊ビーチの開設・運営
- ・皆生温泉魅力UP事業
- ・皆生温泉エリア経営実行委員会への参画

イ 城下町米子及び圏域周遊促進事業

- ・米子城跡環境美化活動事業
- ・米子城オレンジロード観望会の実施

ウ 米子グルメ普及促進事業

- ・米子牛骨ラーメンスタンプラリー2024の実施
- ・米子名物「牛骨ラーメン」「475パフェ」「さばしゃぶ」の情報発信強化
- ・キッチンカー及び露店出店等の認定制度事業

エ インバウンド関連事業

- ・観光庁事業で作成した外国語版パンフレットの作成（増刷）
- ・鳥取県西部地区韓国インバウンド誘客事業

オ 第36回全国健康福祉祭とっとり大会「ねんりんぴっくはばたけ鳥取2024」開催への協力

カ 地域観光新発見事業（絶景の城米子城×シン・グルメツアー事業）

- ・ツアーの企画・実施
- ・偏愛ツアー企画のプロモーション等
- ・ふるさと納税と連動したプロモーション

(2) 継続事業

- ・宣伝対策事業
- ・大人達の社会見学の実施（受付・手配）
- ・皆生温泉ニューツーリズム創造事業
- ・まちなか観光推進事業
- ・広域連携・観光誘客事業
- ・米子ふるさとPR大使関連事業（関係人口の強化事業）
- ・スポーツ観光推進事業
- ・神話・歴史観光推進事業
- ・二次交通に関する事業
- ・米子桜まつりの開催
- ・第11回ネギ来まつり&米子駅まつりの開催
- ・米子城・城下町観光拠点強化事業
- ・看板・印刷物関係事業

- ・指導育成事業
- ・収益事業の推進
- ・皆生遊歩道清掃事業
- ・観光協会組織の充実
- ・米子市国際観光案内所委託運営
- ・会議・研修会等（協会主催、共催会議のみ）

◇米子市国際観光案内所年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
275件	4,374件	5,157件	1,208件	6,384件	17,398件

2 皆生温泉にぎわい創出事業

皆生温泉旅館組合、鳥取県及び米子市で組織する皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会において以下の事業を行った。

(1) ホスピタリティ向上のための取組

賑わい創出のベースとなる皆生温泉エリアの地域資源の保全、街並みの整備及び立ち寄りスポットの維持管理や環境改善を継続的に行い、温泉地・観光地としてのホスピタリティ向上を図った。

(2) 地域魅力及び集客力向上のための取組

温泉・海岸・まちなか・サイクリングコースなどの地域資源を活かしたイベントやサービスを通年展開し、当エリアの魅力を向上させるとともに、それらの情報をタイムリーに発信することで、集客力向上を図った。

(3) 誘客促進及びファン拡大のための取組

幅広いお客様に当エリアに足を運んでもらい、皆生ファンになっていただくため、ターゲットに応じた媒体による情報発信、広報宣伝及び主要マーケットでの誘客活動を行った。また、当地を訪れるお客様に様々なツールで地域・観光の情報を行った。さらに、地元のお客様にも気軽に温泉を利用してもらうためのキャンペーンを行い、底堅いファン獲得に努めた。

3 皆生温泉エリア経営実行委員会によるまちづくりの推進

皆生温泉関係者、地元金融機関、観光団体、建築デザイナー等で組織する「皆生温泉エリア経営実行委員会」の事務局として、毎月の実行委員会の運営と以下の事業実施の伴走を行った。

(1) 皆生温泉エリア内の空間活用の実施

ア 「うごくまちぐるぐるかいけ」の開催

皆生温泉エリアの来街者の滞在時間延長・消費額向上・低未利用土地所有者の活用機運醸成、事業者の新規投資機運醸成に取り組むため、低利用土地に飲食店などを出店させ、来街者の回遊につながる取組を2回実施した。

イ 水一広場（スイッチひろば）の毎月開催

毎月第一水曜日、当委員会メンバーと地域の方々とのコミュニケーション機会の創出を主軸とし、米子市観光センターや低未利用地において、簡易な飲食提供と滞留空間を設営した空間活用に取り組んだ。

(2) 空き不動産への新規出店者誘致・開業支援

皆生温泉エリア全体の視点から、未活用物件の価値を見極め、用途変更を含む再活用の企画・設計・施工

を実施した。併せて、出店者募集や入居後の管理までを一元的に行うサブリース事業の構築を進めた。令和6年度は元コグステーション跡地に自家焙煎コーヒー店1店舗が新規開業した。

(3) 情報発信

ア KAIKE PRESS（カイケプレス 紙媒体）の発行

皆生温泉のまちづくりの取組状況を地域住民に向けた紙媒体（ニュースレター）として隔月発行した。

配布先：福生西・東エリアの各自治会の班回覧、福生西・東公民館

皆生温泉エリア内事業所、米子市観光センター

日本海新聞折り込みチラシ（皆生温泉エリア周辺の2,500世帯）

イ ポータルサイト「かいけラボ」による情報発信

当実行委員会の取組やまちづくりの情報をリアルタイムで発信した。（47記事）

「皆生温泉で何かやってみたい」と思わせる行動変容を促すユニークな記事を多数掲載しており、未来のまちづくり人材の誘引や、来街者増を狙うとともに、紙媒体であるカイケプレスと連動しながら記事を投稿した。紙媒体のカイケプレスのアーカイブも閲覧可能。

ウ SNSによる情報発信

ポータルサイト「かいけラボ」と連動させた発信や、各媒体の特性（読み手、アルゴリズム）に合わせた発信を実施した。（X・Instagram・Facebook 各145投稿）

4 米子市にきないや！観光支援事業

(1) 県外への情報発信

「米子城跡」や「皆生温泉」を中心とした本市観光資源を県外にPRするため、米子市への誘客促進を図る観光特集記事を多様なメディア媒体で掲載し、露出強化を行った。

掲載媒体：じゃらん、楽天トラベル、JR西日本車内中吊りポスター（京阪神地区エリア在来線）

(2) 米子市総合パンフレットの更新

米子市総合パンフレットを更新し、最新の米子市の魅力や観光情報を発信した。（印刷部数：20,000部）

国内で行われるイベントのほか、宿泊施設、米子市国際観光案内所、米子市観光センター、米子鬼太郎空港等に配架し誘客に活用した。

(3) 観光素材写真の収集

鳥取県内の風景写真を全国に広める実績を持ち、全国的に活躍している写真家に依頼し、米子市内の観光スポット及び絶景スポットで約100枚の写真を撮影した。提供された写真は、本市観光パンフレット、米子市国際観光案内所に掲出したパネル等に使用し、効果的な活用を図った。

5 米子城跡を活用した観光誘客の推進

(1) SNS広告による情報発信

米子城跡から見えるダイヤモンド大山、オレンジロードの概要及びイベント情報をSNS広告により情報発信し、県外市外からの誘客を図った。

(2) 米子城跡周辺まち歩きマップの増刷

米子城跡、ダイヤモンド大山やオレンジロードの紹介、米子駅及び朝日町・角盤町周辺の飲食店が掲載されているまち歩きマップの増刷を行い、宿泊施設や米子市国際観光案内所等に配架し誘客に活用した。

6 インバウンド対策の推進

米子空港への国際定期路線の運航再開、クルーズ客船の寄港増加、2025年大阪・関西万博開催などの機会を捉えて、インバウンド観光客を本市に誘客することを目的に以下の事業を実施した。

(1) 韓国人インフルエンサーを活用した情報発信

本市に韓国人インフルエンサーを招へいし、米子市内（一部米子市外を含む）の観光施設等を巡る2泊3日のファミツアーを実施したのち、ファミツアーで巡った観光施設等を中心に「NAVER BLOG」への記事掲載及び「Instagram」への投稿を行うことにより情報発信を行った。

(2) 台湾人インフルエンサーを活用した情報発信

本市に台湾人インフルエンサーを招へいし、米子市内（一部米子市外を含む）の観光施設等を巡る2泊3日のファミツアーを実施したのち、ファミツアーで巡った観光施設等を中心に「PIXNET」への記事掲載および「Facebook」「Instagram」への投稿を行うことにより情報発信を行った。

(3) 台北温泉祭りでの情報発信

10月30日から11月3日まで台北市の北投温泉で開催された「台北温泉祭り（台北温泉季2024）」に中海・宍道湖・大山圏域市長会及び皆生温泉旅館組合と参加し、皆生温泉としてブース出店することで、観光PRを行った。また、台北市温泉関係者との懇談や意見交換による交流促進を図った。

(4) 多言語パンフレットの改修・増刷

インバウンド観光客の誘客促進及び受入環境整備を目的に、2019年に作成した多言語パンフレット（TW Travel Guides）の改修・増刷を行った。（繁体字、ハングルの2種類）

(5) 台湾向けパンフレット及びPR動画作成

米子台北便の就航及び2025日台観光サミットin鳥取の開催に備え、ファミツアーのため招へいしたインフルエンサー監修の台湾向けパンフレットと、米子市のPR動画（繁体字字幕）の作成を行った。

(6) 訪日台湾人に向けての情報発信

米子台北便の就航に向けて、訪日台湾人・香港人向けメディア「ラーチャーゴー！日本」に記事作成を依頼し、現地目線の観光情報発信を実施した。

(7) 国際定期便の利用促進

米子鬼太郎空港と海外を結ぶ国際定期便の米子ソウル便、米子香港便について「国際定期便利用促進協議会」を通じ、路線の利用促進活動を行った。

(8) 台湾観光促進イベントの開催

米子台北便の就航に合わせて、台湾への機運醸成と同便のアウトバウンド促進を目的としたイベントを鳥取県と連携して実施した。

(9) インバウンド飲食店受入環境整備の促進

市内飲食店のインバウンド受入環境整備を進めるため、多言語対応メニューの整備やホームページリニューアル等を実施する飲食店舗に対して費用の3分の2を助成した。また、インバウンド観光客向け飲食店特設サイトを開設し、サイトの紹介用カードを市内宿泊施設等に配架し、周知を図った。

7 大山山麓・日野川流域観光推進協議会による広域観光の推進

令和6年度は、具体的な取組として、絶対的シンボル「大山」の魅力を前面に打ち出した圏域のブランディング、情報発信を強化するとともに、今後需要が拡大する若しくは成長が期待できる分野、継続して取り組むべき課題解決や広域的な連携などへの選択と集中によって、次の施策を5本柱として事業を展開し、真の「稼ぐ地域」の形成を通じた持続可能な観光地域づくりを目指した。

(1) サイクリング事業

大山時間との連携により、インバウンド受け入れに向けた広報素材の充実や地元の機運醸成を図った。既存資源の有効活用やツアーガイド育成の必要性も再認識でき、今後のツアー造成の基盤が整った。また、県内外のサイクルイベントでの広報により、圏域のサイクル環境の周知や誘客促進に繋がった。

(2) 二次交通事業

観光マイスター資格を持つドライバーによる観光周遊タクシーは、前年度の672台を大幅に上回る920台の利用があり好評であった。令和6年度は新たに14名を観光マイスターに認定し、累計81名が観光周遊タクシーのサービス品質の確保に貢献している。

(3) プロモーション事業

地域の魅力を効果的に伝えるため、ホームページやSNS等を活用し、タイムリーかつ戦略的な情報発信を実施した。インフルエンサー、YouTube、テレビなども活用し、多くの視聴者に圏域の魅力を発信した。また、圏域のPR動画及びノベルティを制作した。今後、大阪・関西万博の山麓協ブース等で活用していく。

(4) インバウンド誘客事業

観光庁の補助金「地域観光新発見事業」の一次公募及び二次公募に申請したが、いずれも不採択となり、未実施となった。なお、不執行となった財源の一部を、関係市町村の承認を得た上で、利用者増により財源が不足していた二次交通事業（観光周遊タクシー）に流用して、予算執行した。

(5) 広域連携事業

「つながるマルシェ」「日本遺産PR事業」「刀剣・たたら関連事業」「酒蔵ツーリズム事業」など複数の継続事業において地域への定着を図り、民間事業者と連携した取組を推進した。また「地域の収益創出支援事業」を新たに実施し、民間事業者による観光資源を活用したコンテンツの造成や受入環境の整備など、国内外から圏域への誘客促進及び収益向上に資するモデル的な取組を支援した。

8 米子市、境港市、安来市、松江市、出雲市との連携

5市が構成団体として属する「中海・宍道湖・大山圏域観光局」において、圏域インバウンドプロモーション、国内広域観光プロモーション、人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業、圏域観光再生支援プログラム、圏域周遊促進及び受入環境充実、2025大阪・関西万博誘客事業などを実施し、情報発信を行い、認知度向上と観光誘客を図った。

9 中海・錦海かわまちづくり計画の推進

「中海・錦海かわまちづくり計画」に基づき、国や県と連携し、米子港の広場整備等を進めた。国・県との工事間調整を行いながら、国の親水護岸整備、本市の敷地造成工事の第1工期を終了した。

10 JR西日本との連携

JR西日本と連携して以下の取組を行い、観光誘客及び認知度向上を図った。

(1) 「WEST EXPRESS 銀河」の運行に合わせて、米子駅にて、境港市や観光団体と協力して特産品の販売や、観光パンフレット及びノベルティ配布などのおもてなしを実施した。

(2) 鉄道を活用した県内周遊企画として「名探偵コナンミステリーツアー」の開催が決定したことに伴い、鳥取県、県内自治体、鉄道会社、観光団体からなる「名探偵コナン鳥取ミステリーツアー実行委員会」が設立され、本市も参画した。

1.1 米子市観光センターの管理運営業務

(1) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

(2) 年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）

ア 観光案内 11,285件（18,599人）

イ 施設利用

区分	多目的ホール	会議室	料理研修室	和室	第1展示ホール	第2展示ホール	第3展示ホール	合計
件数	418件	618件	23件	250件	365件	11件	40件	1,725件
人員	8,818人	5,516人	193人	1,144人	21人	255人	356人	16,303人

ウ 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合
 指定管理委託料 4,192,000円

1.2 米子コンベンションセンター管理運営業務

(1) 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(2) 年間利用状況

ア 米子国際会議場利用

集会	展示	音楽	芸能	その他	計
101件	7件	1件	4件	1件	114件

利用日数 212日 稼働率 64.3%

イ 米子国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
 指定管理委託料 72,886,193円

1.3 コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
22件	6,370人	7,332人	7,888,500円 (3,944,250円)

1.4 「ととのうよなご」サウナツーリズム推進事業

(1) 鳥取県が推進する「ととのうとっとり」サウナツーリズムイベントへの参加

JSA（ジャパンサウナ部アライアンス）と連携した「ととのうとっとり」PRイベント（横浜市）に参加し、フリーペーパー「KirariTabi米子でととのうサウナ旅」と「よなごの水」の配布により米子市のPRを行った。

(2) 米子市内のサウナ施設（6施設）を紹介するフリーペーパー「KirariTabi米子でととのうサウナ旅」の発行及び本市サウナの魅力を伝える動画をSNSにて県外に発信し、サウナツーリズムの促進を図った。

・フリーペーパー発行部数 5,000部 ・SNS広告リーチ数 74,842回

1.5 観光関連団体との連携

日本観光振興協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、山陰インバウンド機構等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

1.6 米子市ロゴマーク・イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への貸出

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに40回貸し出した。

(2) 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、市内外事業者・市民などに合計54回活用された。

(3) ヨネギーズ着ぐるみの更新

ヨネギーズ着ぐるみ・エアータ입について、平成25年製が経年劣化により故障したため、新規作成した。持ち運びに優れたエアータ입の着ぐるみを活用し、県内外での各種PRイベント等において、本市の魅力を広く発信するべくグリーティングを実施した。

1.7 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

1.8 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

1.9 ウォークブルエリアへの観光案内看板の設置

米子駅周辺～米子城跡～加茂川沿いのエリアに、多言語対応の観光案内看板を設置し、国内外からの観光客の受入環境整備を進めた。

2.0 ねんりんピックはばたけ鳥取2024への出展

本市の観光PR及び誘客を目的として、ねんりんピックはばたけ鳥取2024のふれあい広場における行政情報発信コーナーへ出展し、皆生温泉、米子城跡、食のコンテンツ等についての観光案内、情報提供及びパンフレットや銘菓の配布等を実施した。（出展期間：10月19日～10月21日）